

日経配当指数、17年の最終値 5年連続で過去最高を更新

日本経済新聞社が2日まとめた日経平均・配当指数(2017年)の最終値は373円02銭と、16年に比べ45円39銭上昇し、データのある1998年以降で最高になった。8年連続で前年に比べ上昇し、5年連続で最高を更新した。

日経配当指数は、日経平均株価の構成銘柄をある年の1月から12月まで保有していた場合に得られる配当額を指数化した。3月末で17年分の配当額が確定し、最終値が決まった。

16年と比較が可能な構成銘柄のうち、増配したのは115銘柄と、減配の15銘柄を大きく上回った。上昇への寄与度が大きかったのは東京エレクトロン(8035)などだった。

決算期が集中する18年3月期末の配当は6月の株主総会後に18年の指数値に反映される。

※日経平均・配当指数についての詳細は[こちら](#)。